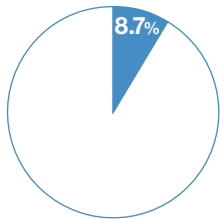


特機事業

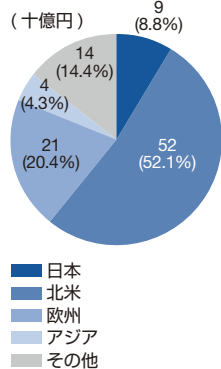
注
 需要の数値は当社調べです。

2009年度の特機事業の売上高は、前年度比1,127億円(52.8%)減の1,006億円となり、全体の売上高の8.7%を占めました。また、営業利益は同373億円減の338億円の損失となりました。

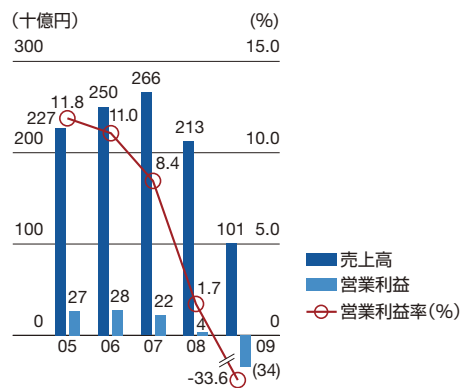
2009 年度売上高比率



2009 年度市場別売上高



業績



ATV・SSV事業 — 需要の下げどまり

2009年度のATV(四輪バギー)の総需要は、景気低迷により、前年度比27.8%減の60.4万台になりました。

2009年度の当社のATV販売台数は、最大市場の米国や欧州での落ち込みが依然として大きく、その影響や在庫適正化に向け減産・出荷調整を行ったことで、前年度比51.8%減の8.2万台となりました。SSV(サイド・バイ・サイド・ビークル)については小売の停滞により、2009年度の販売台数は前年度比89.5%減の0.4万台になりました。以上の結果、円高の影響もあり、2009年度の当社の売上高は前年度比66.4%減の458億円になりました。

ATVの需要は今後引き続き減少するものの、2010年を底に緩やかながら回復基調で推移するものと予測していますが、通年では、前年度比14.2%減の51.8万台になる見通しです。当社は、販売網の強化による顧客サービスの向上や、地域ごとのキメ細かなプロモーションなどに



700ccスポーツATV
 「Rapter(ラプター)700」

より、2010年度のATV販売台数については、前年度比14.6%増の9.4万台を目指しますが、SSVについては小売停滞の影響を引き続き受けるため、2010年度の販売台数は、前年度比25.0%減の0.3万台を計画しています。

スノーモビル事業 — 持続する厳しい事業環境



1,050ccスノーモビル「Phazer(ファイザー) M-TX」

2009年度のスノーモビルの総需要は、雪不足に加え景気低迷の影響もあり、前年度比14.0%減の11.7万台になりました。こうした中、当社は環境性能に優れた製品開発と普及を進めたものの、主力市場である米国での販売不振や円高の影響などにより、2009年度の販売台数は、前年度比37.9%減の1.8万台に、売上高は同36.2%減の139億円となりました。

ゴルフカー事業 — 事業環境の悪化



電動ゴルフカー「The Drive(ザドライブ)」

2009年度のゴルフカーの総需要は、景気低迷の影響により、前年度比22.8%減の23.0万台になりました。こうした中、当社は環境性能とコストパフォーマンスの高い電動ゴルフカーの拡販に努めましたが、2009年度の販売台数は前年度比24.6%減の4.3万台に、売上高は円高の影響もあり、同28.3%減の195億円となりました。

発電機・その他の特機製品 — 需要低迷により苦戦

2009年度の発電機の売上高は、中国、中南米では堅調に推移したものの、北米および国内での低迷により前年度比で約15%減少しました。また、汎用エンジンは発電機同様北米での低迷により、除雪機は降雪の遅れにより、おのおの販売が低調に推移したため、当部門のその他の製品の売上高は前年度に対し約23%下回る結果となりました。



インバータータイプ発電機
「EF1600iS」